執筆要項（2007年度改訂版）

1．執筆資格者は，原則として大阪市立大学都市文化研究センター研究員，大学院文学研究科の専任教員ならびに特任教員とする。なお，指導教員の推薦を受けた文学研究科大学院生の執筆を受け付けることがある。その際には，推薦状を添えなければならない。また，都市文化研究センターの研究成果として発表することが適当である場合，客員教授・客員准教授・客員研究員の執筆を認めることがある。

2．投稿原稿は，学術に関する未公開の研究論文，研究報告（研究ノート，研究資料を含む），シンポジウム，特別寄稿，翻訳，研究展望，書評とする。

3．原稿（本文・注）は日本語・英語・中国語のいずれかとする。①Word形式か一太郎形式の印刷された原稿と，②MS-DOSテキスト・ファイル形式の電子ファイルで提出する。
表，図，写真などはそのまま写真製版できるものとし，1件ごとに別紙とする。電子ファイルも同時に提出することが望ましい。なお，それぞれの挿入位置を印刷された原稿中に明記する。

4．原稿の分量は以下の通りとする。外国語原稿の場合も和文に相当する分量とする。

⑴ **研究論文・研究報告・特別寄稿及び翻訳**：400字換算で60枚程度（本文・注・図表等をふくめて，本誌の体裁で10～14頁）

① 日本語論文の場合は，和文タイトル・英文タイトル，和文要旨・英文要旨，和文キーワード（5語）・英文キーワード（5語）をつける。和文要旨は600～800字程度，英文要旨は300～400語程度とする。

② 英語論文の場合は，英文タイトル・和文タイトル，英文要旨・和文要旨，英文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。英文要旨は300～400語程度，和文要旨は600～800字程度とする。

③ 中国語論文の場合は，中文タイトル・英文タイトル・和文タイトル，中文要旨・和文要旨，中文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。中文要旨は300～400字程度，和文要旨は600～800字程度とする。

⑵ **研究展望**：400字換算で30枚程度（本文・注・図表等をふくめて，本誌の体裁で5～7頁）

⑶ **書評**：400字換算で10枚程度（本文・注・図表等をふくめて，本誌の体裁1～2頁）

5．投稿された原稿については，編集委員，ないしは編集委員から付託をうけた者が査読をおこなう。その結果，書き直しを求めること，不採用となることがある。

6．査読を受ける原稿については，印刷された原稿として正本1部と副本2部の計3部を同時に提出する。原稿は，本文，注，図表等を編集し，刷り上がりイメージがわかる形式で提出する。また副本は査読に使用するので，執筆者名を記さない。

7．執筆者は，完成原稿を別途定める締切日までに，『都市文化研究』編集委員会（大阪市立大学文学部棟1F都市文化研究センター事務局内）まで持参して提出することを原則とする。

8．執筆者が校正段階で大幅な加筆，修正することは認めない。誤字訂正，印刷上のミスの訂正にとどめる。

9．研究論文・研究報告・特別寄稿及び翻訳の執筆者には，本誌2冊と抜刷30部を進呈する。

次号（第11号）投稿エントリー締め切り：2008年7月10日（木）
エントリー先：hirata@lit.osaka-cu.ac.jp
原稿締め切り：2008年9月16日（火）